

会派理念 市民の声を聴き、未来に責任ある政治を

ご挨拶

平素より、志政会の活動へのご理解・ご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。志政会は、市内全域から選出された9名の議員からなる磐田市議会最大の会派です。「市民の声を聴き、未来に責任ある政治を」を会派理念に、各地域の情報・課題を広く共有し、調査研究・提言・要望・審議等の政策サイクルを進めています。

全国的課題でもあります、急激な少子高齢化を伴う人口減少社会、多発化・激甚化する自然災害や異常気象、新型コロナウイルス感染症による社会の混乱、ロシアのウクライナ侵攻による物価や燃料高騰など困難な問題に直面する今こそ、未来への責任ある政治が求められています。

昨年の台風第15号に続き、今年6月の台風第2号による2回目の被災もありました。市民の皆様の安心・安全を最優先に捉え、磐田市の前進のため会派一丸となって取り組んでまいります。引き続き、ご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

会派代表 秋山 勝則



◆会派メンバー紹介

前列左から

岡 實
副議長
総務委員会

会派会計

八木 義弘
建設産業委員会 副委員長
広報広聴委員会

会派代表

秋山 勝則
総務委員会 委員長
議会運営委員会

会派副代表

鳥居 節夫
民生教育委員会 委員長
議会運営委員会

会派政調部長

永田 隆幸
広報広聴委員会 委員長
民生教育委員会

後列左から

芦川 和美
民生教育委員会

会派企画部長

小柳 貴臣
総務委員会 副委員長

小池 和広
議会運営委員会 委員長
建設産業委員会

寺田 幹根
建設産業委員会

令和5年度 志政会 会派政策課題

令和5年5月25日策定

◆恒久的テーマ

『持続可能な磐田市づくり』

◆具体的テーマ

テーマ1 安心・安全な「まちづくり」

『水害経験を受けた
流域治水対策について』



『市内産業振興と
雇用拡大支援策について』

テーマ2 少子高齢化・人口減少に抗するための対応

『地域ぐるみの
子育て・教育支援策について』



テーマ3 DX化への総合的な対応

『DX化に向けた
総合的な取り組みについて』



志政会のHP 政治を身近に感じていただくため、情報を発信しています。

磐田 志政会

検索

ご意見はこちらへ!

Mail : info@iwata-shiseikai.info

TEL0538-36-5548



志政会政策サイクルによる活動

要望活動

度重なる被災を受けて、県へ緊急要望提出!!

昨年9月下旬の台風第15号と今年6月の台風第2号に伴う線状降水帯の豪雨により、県管理の敷地川において1年たたない間に2度の災害となりました。

今後においても、更なる台風や線状降水帯の発生が考えられ、県管理の公共インフラ施設の復旧や、県による被災者生活再建支援の実現に向けて早急な対応が必要であり、県への要望・協議事項を中沢公彦県議会議長に提出しました。

1. 県管理の敷地川の仮復旧における、従来型の大型土嚢を破堤箇所に積み上げる復旧ではなく、今後も予測される大型台風や線状降水帯の豪雨に耐え得る仮復旧対策の早期実施。
2. 県管理の敷地川の今後の本復旧に関しては、河川の線形変更も視野に入れて、気候変動での豪雨に耐えうる河川整備の実施。
3. 豊岡地区の土砂災害を防止するための砂防施設や治山施設並びに、河川に堆積している土砂の緊急点検と改善。
4. 一年の内、2回の災害救助法が適用される災害を受けるという特殊な状況下を受けて、新たな基礎自治体への支援事業の創設並びに、被災した地域住民に対して新たな被災者支援事業の創設。



実現内容

令和5年6月14日、緊急要望提出。以下の対策が具体化しました。

【敷地川】

鋼矢板二重締切+根固めブロック+大型土嚢により

強固な応急復旧を早期に実施!

今後は決壊部のみならず、国と連携して

流域治水として大きく対策を検討!

【上野部川・一雲済川】

緊急対策予算を使い

8月から河川に堆積した土砂撤去等を実施!

【被災者支援】

短期間に複数回被災した世帯に対して、県が

新たな災害支援制度創設! (9月県議会に予算案上程)

市民の声から実現へ!

特別支援学校設置へ!

志政会は、袋井特別支援学校へ磐田市から多くの子ども達を通う現状や市民の声を聞き、草田市長へ磐田市に特別支援学校の設置を望む要望書の提出をしました。その後、豊田北部小学校跡地への設置が静岡県教育委員会により決定されました。



令和4年3月要望

代表質問により提案!

磐田市のデジタル実装へ向け、国の採択決定。5,900万円の交付金。

志政会は、国が推し進めるデジタル田園都市国家構想におけるデジタル田園都市国家構想交付金を活用するよう代表質問で提案してきました。令和5年度、磐田市のDXに関し提案した各事業が国の補助金採択を受け、補助額約5,900万円(事業総額、約1億1,800万円)により事業が推進されます。

〈交付金活用事業〉

- 健診Web予約システム(市立総合病院)
- EBPM(データを活用した合理的根拠に基づく政策)推進のための分析ツール導入
- 「書かない」「行かない」窓口整備 ●交流センター等のオンライン施設予約
- 体育施設のスマートロック等導入 ●小学校プログラミング教材の整備



会派視察

政策テーマ「安心・安全なまちづくり」から。被災した流域の治水について、水害対策を視察研修

令和4年台風第15号と、令和5年台風第2号に伴う豪雨災害により被災した磐田市。喫緊の課題である水害対策について、現在さまざまな対応を行っている広島県内を視察しました。

広島県三原市 「二級河川沼田川水系天井川」(令和5年7月24日)

平成30年・令和3年の豪雨により二度にわたる堤防決壊の状況と復興への取組について県職員から現地視察と説明を受けた。

磐田市でも、被災原因を詳細に検証し、現地の実情に沿った更なる治水対策が重要と感じる。



広島県広島市 「大州雨水貯留池」(令和5年7月25日)

広島市民球場(マツダスタジアム)の地下複合施設である大州雨水貯留池を設置した経緯及び設置後の効果と今後の課題について現地で説明を受けた。

中心市街地で施設の地下空間を生かし雨水貯留池にした発想は画期的で目を見張るものがある。



広島県三次市 「流域治水」(令和5年7月26日)

内水(洪水)対策事業における五龍川貯留施設(キリリパーク)の現地視察や、多くの関係者が協働で流域治水をしている「田んぼダム」の説明を受けた。

磐田市でも、浸水被害対策の総合的な推進のため、流域一体となった浸水被害防止の対策が必要と感じた。



今回の会派視察で学んできたことやヒントを得たことを活かし、今後も防災減災に積極的に取り組んでいきます。